

さわらび

2020. 1. 8 No. 24 文責：大塚

～新しい年を迎えました～

「新しい年と言っても」……学校は4月はじまりで3月までが一区切り。締めくくりまであと3か月という、大事な再スタートの3学期のはじまりです。

また、新しい年の2020年は、オリンピックも開催されます。そういう1つの節目を迎えて、より国際的な感覚や言葉の力が大事になってくることを実感する年にもなるのではないかと思います。

10年一昔と言いますが、10年前と現在とでは、外国人観光客や日本で働いたり学んだりしている外国人の数は驚くほど増えました。2008年の訪日外国人数は年間約840万人でしたが、2018年は3100万人です。2019年は、ラグビーワールドカップでもっと多かったと思います。そして、2020年のオリンピックを機にさらに増えていくことと思います。(4月の修学旅行で立ち寄った京都・大阪でも気づいたと思いますが、街中にはいろいろな言語の表示がある時代です。)

言葉とともに大切なのは、人権感覚です。21世紀に入る前、国連は1995年から2004年までの10年間を「人権教育のための国連10年」と決議し、行動計画を採択しました。ここには、過去の戦争も踏まえて、人権の尊重が平和の基礎であるということが世界の共通認識とされ、21世紀は「人権の世紀」と呼ばれています。

人が人らしく生きるためには、人権が尊重された社会であることが基本です。そのためには私たち1人1人が、自分や周りの人の人権が不当に侵害されていないかを知ること、それに対して行動を起こせることも必要です。そういう場面に会ったとき、その場で「それはおかしい」「間違っている」と言えたら一番いいのですが、その場で言えなくても、あとで自分の一番話せるところで「こんなことがあった。そのとき私は言えなかったけれど、あなたはどうか?」と語ることも行動です。決して自分だけで抱え込まずに、周りと一緒に立ち上がっていくことです。



1月25日(土)は、人権教育参観日です。人権について学ぶことは、自分自身の生き方を考えることでもあります。

■去年の3学期に出した学校通信「さわらび」にも掲載しました。この詩には、それぞれの子どもの暮らしがあって、それぞれの夢や未来への希望があります。そして何より、つながりがあります。「つながりはぬくもり」です。

■作者の谷川俊太郎さんは、1931年生まれの88歳。現在も現役の詩人として活躍されています。

それはあなたの送った朝を
誰かがしっかりと受けとめた証拠なのだ
鳴ってる
どこか遠くで目覚まし時計のベルが
眠る前のひととき耳をすますと
そうしていわば交替で地球を守る
ぼくらは朝をリレーするのだ
経度から経度へと
柱頭を染める朝陽にウインクする
この地球では
いつもどこかで朝がはじまっている

～12月末の学校の様子から～



12月25日が終業式でした。生徒4人は、帰る前に教室の各自のロッカーを整頓したり、翌日の部活動後には1階廊下の水槽をきれいにしたりと環境を大事にしています。また、おとなにとって仕事納めとなった27日には、帰る直前に上岡用務員が1階廊下のワックスがけをしています。

本校に仕事等で訪れる皆さんから「学校がきれいですね」との言葉を聞くたびに、藤岡中の生徒・教職員の日常を評価してくださっているのだと感じてうれしく思います。

春に向けて花壇にもたくさんの花を植えています。保護者・関係者の皆様はもちろんのこと、2020年春は、地域の皆様もどうぞいつでも藤岡中の花壇の花見にお越しください。

1月～3月のおもな行事予定

- 1/8(水) 始業式 A日程願書配布開始
- 9(木) 実力テスト
- 17(金) 午後臨時休業[四万十市内の教職員研修のため]
- 25(土) 人権教育参観日
- 30(木) 小熊弥生さんを迎えての英語の時間
- 2/4(火) A日程出願開始[～6日]
- 12(水) A日程志願先変更期間[～14日]
- 13(木) 3年生期末テスト
- 14(金) //
- 3/4(水) A日程入試[教科] 2年生期末テスト
- 5(木) // [面接] //
- 6(金) 遠足
- 13(金) 卒業式
- 14(土) A日程合格発表
- 24(火) 終了式・離任式

朝のリレー

谷川俊太郎